

# 「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。

## 目指す生徒像

自ら考え学び創造する生徒 お互いに認め合い、助け合う生徒 心身ともにたくましい生徒

- ・生徒の興味関心を引き出す授業等を行い、学力の向上に努める。
- ・研究開発課題「個々の持つ強みを協働させて『新たな価値を創造する資質・能力』を育成する新設教科『創造デザイン科』の在り方に関する研究開発－個別最適化学習と STEAM 教育を柱として－」に全校で取り組む。
- ・あらゆる場面で生徒の自主的・主体的・創造的な取組を引き出す。
- ・生徒指導や道徳教育を充実させ、お互いに認め合い、助け合う生徒の育成に務める。
- ・効率的で充実した特別活動や部活動等を推進し、心身ともに逞しい生徒の育成に務める。

## 豊かな人間性

自分を律しつつ、思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築いて共に生きて行こうとする態度で、将来に向け自己実現を図っていく生徒。

- ・すべての教科等が連携して行う道徳教育の充実
- ・生徒会活動・学級活動・学校行事など生徒が主体となって行う活動
- ・地域や国内外の学校との交流

## 健康・体力

自他の安全に配慮し、心身の健康に対し主体的に関わる生徒。

- ・教育活動全体で行う安心・安全な環境の整備
- ・家庭や地域と連携した健康教育の推進
- ・教育相談の充実

## 資質・能力の育成

## 確かな学力

### 目指す子供の姿

新たな社会を見据え、創造的に問題を解決する姿。

### ●何ができるようになるか ○育成を目指す資質・能力

- 社会的使命を果たすことができる力
- 学んだことを社会生活のなかで活かすことができる力
- すべての学習の基盤となる汎用的な能力
- 現代的な諸問題に対処できる力
- 新たな価値を創造する資質・能力を育成する。

### ●何が身に付いたか

#### ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 生徒自身が自らの学びを振り返る。
- 教育課程や学習・指導方法の評価と改善を行う。
- 多様な学習活動を対象とした、多面的・多角的な評価を行う。

### 子供の实態

学習全般に関する学習意欲は高いが、新たなアイデアを創造することへの自信が低い。

### ●何を学ぶか

#### ○教育課程の編成

- 各教科等の枠組みを踏まえた学習内容を学ぶ。
- 「研究開発学校」として、STEAM 教育と個別最適な学びの往還を目指した、創造デザイン科を設置する。
- STEAM 教育として、全ての教科等で協働的プロジェクト型学習を実践するための教育課程を編成する。

### ●どのように学ぶか

#### ○教育課程の実施

- 3年間で身に付ける資質・能力を明確にして学ぶ。
- 単元や題材を見通した学びの工夫をする。
- STEAM 教育を通して、社会とつながる課題を設定する。

### 子供の発達をどのように支援するか

#### ○配慮を必要とする子供への指導

- 全職員の協働的な関与と支援
- 附属特別支援学校や金沢大学教員の協力
- 附属学校園との情報共有や連携
- 外部の専門機関との連携

## 実施するために何が必要か

- ・校内研究会の充実
- ・文部科学省をはじめとした研究機関等との協力
- ・金沢大学や附属学校園との研究協力
- ・コラボレーション推進室との連携
- ・地域や家庭、国内外の学校、企業との連携・協働

## 安心・安全を守る

- ・いじめ防止基本方針の策定
- ・避難訓練などの実施と工夫改善
- ・計画的な安全計画
- ・各種講習会などにおける外部団体の協力
- ・保護者や外部の人材を活用した安全対策の充実

## 開かれた学校づくり

- ・授業参観や懇談会などを活用した、地域・家庭との連携
- ・学校教育学類、教職大学院との協働
- ・学校公開、学校説明会の充実
- ・学校評議員会
- ・金沢大学（附属学校園運営委員会や学類教員など）との連携
- ・富山大学（教育学部共同教員養成課程教員など）との連携
- ・研究成果の国内外諸学校、教員への提供